

第4回吹田市政策会議開催結果について

日時:平成28年7月7日(木)9時00分～9時45分

場所:特別会議室(本庁舎高層棟4階)

政策会議構成員8名の出席

(市長、春藤副市長、池田副市長、総務部長、行政経営部長、税務部長、会計管理者、消防長)

○案 件 名	○担当及び関連する部局名
平成29年度(2017年度)～平成33年度(2021年度)実施計画の策定について	行政経営部 (企画財政室)
○審議内容と結果	
<p>【案件概要】 平成29年度(2017年度)～平成33年度(2021年度)実施計画の策定にあたり、策定方針について協議する。</p> <p>【所管部の考え方】 継続事業に加え、新規・拡充事業についての事業計画表の提出を求め、行政経営部において調整の後、市長・副市長査定を実施の上、翌年の予算に反映する。</p> <p>【審議事項】 実施計画策定方針について</p> <p>【審議結果】 行政経営部より、資料に基づき、審議事項について説明があり、その後質疑応答を行った。</p> <p>指示・・・各部局に対し、人員や予算の権限委譲を進めていかなければならないが、その中で、人員や人件費も事業費と同じレベルで考えておく必要がある。人員の要求は予算の要求と同じである。また、アウトソーシングの視点も必要である。 こうしたことを各局部長が認識するとともに、担当者レベルで理解してもらうよう丁寧に説明すること。 実施計画におけるPDCAのうち、Checkの取組が弱い。行政評価や公会計制度をしっかりと活用すること。</p> <p>指示・・・企画部門と財政部門が組織統合して初めての実施計画である。新組織の効果が十分示せるよう取り組むこと。 実施計画や予算編成において、各部局への権限拡大をどのように進めるのか検討すること。</p> <p>答え・・・本日の部長会においても、ただいまご意見について、十分にご指示いただければと思う。こうした指示について、担当者レベルも含めて、しっかり説明をし、理解をしてもらうよう取り組む。</p> <p>指示・・・部長会において、策定方針の主旨についてきっちり説明すること。また、資料2のPDCAサイクルにおけるCheckに関して、各部局で、また、各室課で、マネジメント会議をDoの間も、定期的に行う必要がある。こうした、小さなCheckの場が重要である。</p> <p>答え・・・ご指示について、本日の部長会で説明する。また、部マネジメント会議は、各部の室長や課長会議等も含んでいるので、こうした会議を活用するよう説明していく。</p> <p>まとめ・・・本案件については承認された。指示に基づき、各部局に十分に説明をしつつ、実施計画の策定方針について周知を行い、手続きを進めることとする。</p>	